

平成30年度 第1回 研究評価委員会

開催日時

平成30年8月24日（金）13:00～16:00

中間評価対象課題と評価結果

課題名	進捗状況	得られた成果	目標達成の可能性	課題の取扱い	合計
(1)細かい霜降り牛肉安定生産技術の開発 (H29～32 大家畜研究課)	4.3	4.3	4.3	4.8	17.5

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・ より付加価値の高い牛肉生産技術。
- ・ 松阪牛のブランドの維持に必要な研究。
- ・ 今後も取り組みを続けていただきたい。

事前評価対象課題と評価結果

課題名	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される効果	合計
(2)黒毛和種雌牛肥育における濃厚飼料中の適正粗タンパク質含量の検討 (H31～33 大家畜研究課)	4.3	4.0	4.3	4.5	17.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・ 粗たん白質の給与量を下げた場合、農家には抵抗がある。
- ・ データを示し、農家に受け入れられることが重要。
- ・ 農家にいかに普及するかを視野に研究を進めてください。

課題名	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される効果	合計
(3)高品質体外胚生産のためのOPU(生体卵巣からの卵子吸引)前処置法の開発 (H31～33家畜改良繁殖研究課)	4.3	4.0	4.0	4.5	16.8

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・ 県内でどれだけ肥育素牛を生産するかが課題となる。
- ・ OPU 技術を使ってまで受精卵を生産する必要があるのか。
- ・ 酪農家との連携が重要である。
- ・ OPU 技術自体の普及もできるかが課題

課題名	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される効果	合計
(4) 羽毛つき行動特性解明による地鶏の飼育管理技術の向上 (H31～33中小家畜研究課)	4.3	4.3	4.0	4.3	16.8

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・ ストレスのかからない飼育方法、飼育環境を改善することで解決するのではないか。
- ・ 経営的資源の範囲内で、よりストレスのかからない飼育管理方法を考える。